

日本骨髄バンクの現状（平成 20 年 8 月末現在）

	7 月	8 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,802	2,617	317,030	401,743
患者登録者数	209	234	2,666	25,766
骨髄移植例数	95	77	-	9,674

20 歳未満のドナー登録者数
 8 月 125 人
 合計 8,181 人（17 年 3 月～）
 51 歳以上のドナー登録者数
 8 月新規 78 人
 延長 198 人
 合計 11,927 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 骨髄バンク推進全国大会の開催

先月号でもお知らせしましたが、本年度の「骨髄バンク推進全国大会」は9月21日（日）に名古屋市で開催されます。“1万人のありがとう”をテーマに、感謝状授与などの式典、関係者による「トークショー」などを行います。参加無料、予約不要でどなたでも参加できます。多くの方のご来場をお待ちしております。

日 時：9月21日（日）13：00～16：30

会 場：中電ホール（名古屋市東区東新町1中電本社ビル）地下鉄東山線・名城線「栄」駅徒歩5分

プログラム：第1部（13：00～14：00）式典、事業報告

第2部（14：10～16：30）トークショー（大谷貴子さんなどによる骨髄バンク誕生に関するエピソード その他）

骨髄バンク・さい帯血バンク「合同レセプション」

日時：9月20日（土）17：30～ 会場：名鉄グランドホテル11階 会費：4,000円

（情報）9月20日（土）に「2008年 名古屋発 さい帯血バンク推進全国大会」が名鉄グランドホテルで開催されます。

参加無料、どなたでも参加可能です。

日時：9月20日（土）開場13：00～ 会場：名鉄グランドホテル（JR名古屋駅 桜通口、名鉄百貨店隣）

2 10月は「骨髄バンク推進月間」

10月は「骨髄バンク推進月間」です。骨髄移植を待つ患者さんのため、国民の皆様にも骨髄移植に関する正しい知識を持っていただき、一人でも多くの方にドナー登録をしていただけるよう、関係者の協力を得て全国各地でドナー登録会等の骨髄バンク推進キャンペーン行事が行われます。

関連情報

- 厚生労働省の広報誌「厚生労働」の10月号に骨髄移植に関する記事が掲載されます。骨髄移植の必要性とともに骨髄バンク事業の推進が呼びかけられています。
- 秋田テレビでは、骨髄バンクのスポットCMを制作・放映していただいておりますが、骨髄バンク推進月間の期間中（10月1日～31日）以下の東京、千葉の大型ビジョンでも放映されることになりました。（放映場所は今後も増える予定です）

ビスビジョン幕張 アーチビジョン渋谷 スーパーライザ新橋

3 平成 21 年度移植対策関係予算概算要求について

9 月 2 日、厚生労働省から財務省への要求に合わせ、厚生労働省から「平成 21 年度移植対策関係予算概算要求の概要」が発表されました。骨髄移植推進財団から厚生労働省に来年度予算として新たに要請した 5 項目について、ほぼ認めていただいた内容となっております。財団分としては、総額で平成 20 年度予算より約 1 千万円増の 473,971 千円の要求となりました。

(1) 非血縁者間末梢血幹細胞移植の導入に関する検討委員会経費	913 千円
(2) 骨髄連絡調整者（専任コーディネーター）研修費	1,458 千円
(3) HLA 照合サービスシステム再構築経費	7,851 千円
(4) 骨髄バンクドナー募集広告経費	11,204 千円
(5) 骨髄データバンク登録費（C 座を追加）（日本赤十字社）	538,125 千円（昨年度予算 473,550 千円）

このうち（1）は、非血縁者間末梢血細胞移植の導入に関し、財団がそのために必要なコンピュータシステムやコーディネーターへの研修のあり方等の検討を行うため設置する検討委員会の経費です。

（2）は、「将来展望に関する検討会議」の答申に基づきコーディネーターへの研修の充実を図るための経費です。

（3）は、老朽化と使用上の不便が著しい HLA 照合サービスシステムを再構築するための経費であり、5 年リースに基づく初年度分として経費が計上されています。

（4）は、本年 6 月で公共広告機構のキャンペーンが休止されたことを受け、全国の自動車運転教習所と羽田空港に設置された大型ビジョンに骨髄バンクの広報映像を流すための経費です。これにより、教習所における青年層、羽田空港における全年齢層の皆様へ骨髄バンクへの理解と普及を目指します。

また（5）は、従来より財団から厚生労働省に要請してきたドナー登録時及び既登録ドナーについての確認検査時における C 座検査のための経費です。これは既存の A、B、DR の各座の検査と同じく、日本赤十字社で担うこととなります。

4 企業・団体への「骨髄バンク語りべ派遣事業のご案内」送付について

財団では、より多くの方々に骨髄バンクへの深い理解を持っていただき、ドナー登録者を着実に増やしていくため、「骨髄バンク草の根語りべ等派遣事業」を展開しています。その一環として、8 月 29 日付けで全国 405 の社会貢献活動を担っておられる企業・団体に「骨髄バンク語りべ派遣事業のご案内」を郵送させていただきました。

職場のみなさまに骨髄バンクについて知っていただくとともに、企業・団体においては「ドナー休暇制度」を導入していただくなど、ドナー登録者が骨髄提供を行いやすい社会的環境作りのきっかけにさせていただくことが目的です。

今回はご案内をお送りしなかった企業・団体につきましても、ご要望があれば迅速に対応させていただきます。多くのご参加をお待ちしております。

5 平成 20 年度普及啓発ポスター完成

平成 20 年度の普及啓発ポスターが完成しました。「誰かの未来につながっている、骨髄バンクです」がテーマで、サイズは大きいものから B 2、B 3、A 3 の 3 種類です。

みなさんのお手元に届くのは、9 月中旬以降の予定です。

6 第 70 回日本血液学会総会

第 70 回日本血液学会総会が 10 月 10 日（金）～12 日（日）の 3 日間、国立京都国際会館で開催されます。内容は、シンポジウム、教育講演等が予定されています。

詳しくは総会事務局（03-3508-1278）、または「第 70 回日本血液学会総会」ホームページ（<http://www2.convention.jp/jshjsch>）でご確認ください。

7 日赤のシステム不具合および当財団のミスによる登録ドナーの登録処理もれ

平成 19 年 11 月に発生した日赤における登録保留ドナーの保留解除漏れの事例を教訓に、当財団と日赤では相互のデータの整合性を確認するため、両方でチェックプログラムの構築を行い、本年 8 月より検証作業を始めました。その結果、日赤の処理において本来検索対象となるべきドナーがシステムの不具合により検索対象になっていなかったことがわかりました（151 人）。また、この過程で、一部、財団でも処理もれ（財団から日赤へのデータ送付手続きもれ）があることもわかりました（8 人）。

これらについて、影響の可能性のある患者さん（79 人）への影響を調査したところ、いずれの患者さんも、HLA 適合条件として当該ドナーよりよい条件の、あるいは同等の条件の他ドナーが多数おられたことから、患者さんへの影響は認められませんでした。

しかしながら、患者さんへご心配をおかけしたこと、ならびに当該ドナーの方々のご意思にできていなかったことについて深く反省し、今後このようなことがないように努めてまいります。

（詳細につきましては別添の資料をご参照下さい）

8 8 月の区分別ドナー登録者数

8 月の区分別ドナー登録者数は、献血併行型集団登録会/1,355 人、献血ルーム/1,089 人、集団登録会 26 人、その他/147 人でした。

9 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開・一部非公開	10 月 2 日（木）17:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室
ドナー安全委員会	非公開	10 月 18 日（土）12:30～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室